

## 信州佐久穂町 十石峠抜井川ボルダー

2015.11.23 rctK

2015年秋、以前通りかかった時に気になっていた十石峠近くのボルダーを登ってみたので報告したい。

このボルダーは佐久穂町から武州街道(R299)を十石峠へ向かい、古谷ダムから乙女の森、そして乙女の滝がある溪谷部分を過ぎたところにある。また十石峠から降りて行った場合は廃屋状態の営林署小屋を過ぎて少し下ったところにある。道路の対岸に見えるのだが、今まで登ったという記録は見当たらない。

ボルダー自体はそこそこに大きくハングもあるが、岩質は礫岩で脆い部分があり、また夏場は結露が酷いらしく苔もびっしりと付いていたので、それが今までにトライされなかった原因とも思われる。

今回大量の苔を落とし、下地も整備したが、暫くするとまた苔に覆われることは確実で、下地も荒れてしまうと思われるが、もし通りかかることがあったらちょっと立ち寄り、良かったらトライしてみしてほしい。現時点で、難しい課題は無いが、時間つぶしぐらいにはなると思われる。

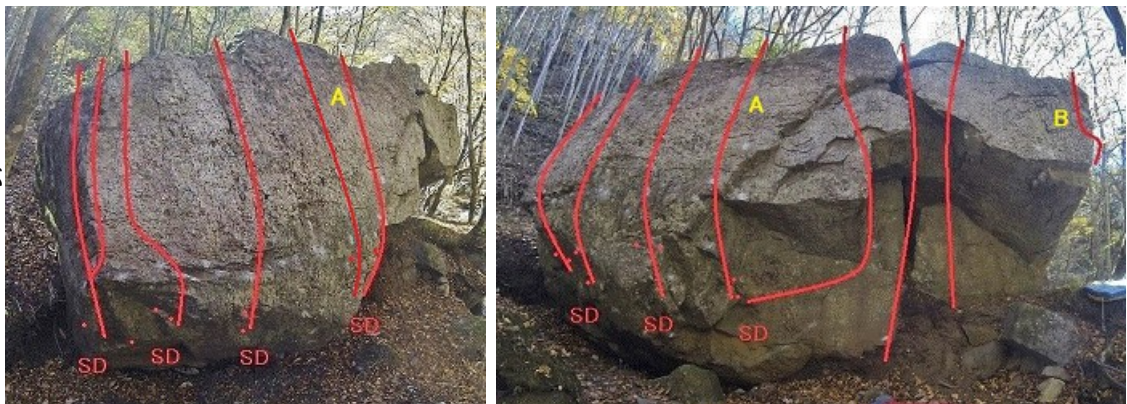
駐車スペースは、上流側の道路横に1台止められるが、少し下流の道路横に何台も止められるスペースがある。そのスペースのすぐ側の道路横のハングした岩と、それより下流の川の側壁などは未トライである。

話は別だが、何故このような上流部に、垂直の丸い礫の層が入った岩があるのか非常に不思議である。大昔の浅間山当たりの火山灰で固められてできたのか、それとも何かの地殻変動なのか、地質学者に尋ねてみたいところではある。

### ●上流側&正面(川側)

Aと正面のAは同ライン。一部脆い部分があったので落とした。

Bと下流側のBは同ライン。



下流側の感じから相当脆いことが予想されたが、苔を落としてみると、予想に反して意外とホールドは確りしていた。クラックの両サイドのラインはクラックの縁は使用しないという限定あり。

### ●下流側

ただ礫が張り付いているという感じのフェイス。トライ中に何度もホールドが剥がれて、何とか登れるようになったが、今後も剥がれる可能性は大である。

